

事業概略書

認知症介護におけるコミュニケーションに関する研究事業
社会福祉法人 仁至会 （報告書A4版1頁）

事業目的

認知症高齢者においては、症状の進行に伴うコミュニケーション能力の低下がQOLや介護に大きな影響を与える。認知症高齢者で維持されている認知能力を明らかにし、介護の現場に活かし、認知症高齢者のQOL向上、介護負担の軽減や介護の質の向上に役立てることを目的とした。

事業概要

1. 既存の認知機能検査および新しく開発した非言語性コミュニケーション能力を評価する方法を用いて、健常高齢者のコミュニケーション能力を測定した。
2. コミュニケーションスケール（軽度認知症用）およびコミュニケーションスケール（重度認知症用）に関して、実際の介護現場で有用性を検討した。また、コミュニケーションスケール（軽度認知症用）を縦断的に測定し、認知症高齢者のQOLの変化との関連を検討した。
3. 報告書の作成

事業結果

高齢者におけるコミュニケーション能力のうち、加齢により影響を受ける能力と受けない能力があることを明らかにした。認知症高齢者の能力の個人差を認識することにより、介護現場での適切なコミュニケーションの方法を見出すことができることを明らかにした。また、認知症高齢者のQOLの変化はコミュニケーション能力とADL・行動障害の変化により規定されることを明らかにした。

事業実施機関

認知症介護研究・研修大府センター

〒 474-0037 愛知県大府市半月町三丁目294番地

TEL 0562-44-5551